

学生支援をめぐる 大学内の連携体制について

本学教職員
対象

昨今、自傷他害ケースや学生の問題行動など、対応に苦慮する場面が多々発生しています。このようなとき、特定の部署あるいは個人だけで問題解決にあたるのではなく、大学内の関係部署あるいは関係者が適切に情報共有しながら、支援方針を確認しつつチームで対応することが求められています。今回、京都大学の杉原先生をお招きして、「学内連携」や「各部署、関係者の役割分担」等について、事例も踏まえて分かりやすくお話いただきます。



杉原 保史 氏

京都大学学生総合機構
学生相談部門長(教授)
教育学博士、
臨床心理士、公認心理師

2025.

2/20 (木)

10:45-12:00



寒梅館大会議室での対面実施・
Zoom配信によるハイフレックス開催

後日、期間限定で教職員のページにて動画配信します。

参加希望者は2月10日(月)までに
Microsoft Forms
<https://forms.office.com/r/TSi3NFa2ka>にてお申込みください。後日Zoom
アクセス情報をお送りします。

参加に際し、何か特別な配慮を希望される場合は、
1月23日(木)までに事務局までお知らせください。

問合せ:同志社大学カウンセリングセンター
TEL075-251-3275

講師紹介

京都大学大学院教育学研究科 博士後期課程 研究指導認定退学。京都大学博士(教育学)。大谷大学 文学部 専任講師、京都大学 保健管理センター 講師、同カウンセリングセンター教授、同学生総合支援センター教授、同学生総合支援センター長を経て、2022年4月同学生総合支援機構学生相談部門長に就任、現在に至る。

主な著書に、『プロカウンセラーの面接の技術』(創元社 2023年)『テキストカウンセリング入門』共編著(誠信書房 2023年)『学生相談カウンセラーと考えるキャンパスの心理支援』共編著(遠見書房 2023年)『学生相談カウンセラーと考えるキャンパスの危機管理』代表編集 共編著(遠見書房 2022年)他多数。